

美空 ~MISORA~ 第202号

発行日:2026年6月1日
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

- ・活動報告
 - 東京理事会・合同理事会 …… 1
 - ・無電柱化北海道フォーラム 2026 概要報告
留学生寄稿 …… 3
 - ・コロンビアの電柱・電線事情 …… 6
 - ・海外での無電柱化工事の写真紹介 …… 9
 - ・各種イベント紹介 ……11

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2026年5月20日(水)17:00~17:30 東京理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 8名

1. 6/3(水)の無電柱化推進シンポジウムの進捗確認と 当日の段取り確認

参加状況(登壇者含む): 会場 130、WEB 28

※佐々木理事はじめ、関係者の協力でかなりの動員を得ることができた。

- ・会場参加メインでWEBがほどほどの申込は理想的
- ・会場の席はMAXで160は入るので、当日キャンセルを見越して、160まで申込を受け付ける

協賛展示の参加状況

- ・協賛展示 3社
- ・資料封入 2社

当日の理事・関係者の役割と段取りの確認

2. 6/11(木)の首長会総会の人員確認
3. 6/25(木)の東京活動委員会の予定
4. 無電柱化推進展の進捗確認

- ・東京都補助金の状況説明
- ・協賛展示のお願い
- ・壁面パネルの進捗
- ・ミニセミナーのラインナップと講演候補の選定
前川理事、北村支部長、井上事務局長はお願いしたい。
- ・7/16(木)は、交流会があるので、国総研にお願いできたら。7/16(木)の無電柱化推進展交流会のお手伝いができるかた募集

小池都知事のビデオメッセージは承諾いただく。

→報告のみ。

5. 次回予定

- ・6月25日(木) 17:00~17:30 住林会議室 M-6

※合同理事会は6/19(金)の社員総会ですので、東京理事会と東京活動委員会のみ。

東京活動委員会は30分繰り上げの17:30~18:45



東京理事会の様子

【活動報告】

2026年5月20日(水)17:30~18:06 合同理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 9名

1. 事務局報告

- 5/14(木) 北海道フォーラム
- 5/20(水) 東京理事会・合同理事会 WEBのみ
- 6/3(水) 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO
14:00~17:00 銀座7丁目貸会議室
- 6/11(木) 令和8年度 首長会定期総会
15:00~17:00 衆議院第一議員会館地下会議室
- 6/19(金) 第19回 NPO 社員総会・総会セミナー
大阪市立総合生涯学習センター
合同理事会 14:00~14:30 その後準備
社員総会 15:00~16:00
各支部方針と参加者への意見聴取 16:00~16:30
準備・受付 16:30~17:00
総会セミナー 17:00~18:40

6/25(木) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
17:00~19:15 住林 M-6 会議室

7/8(水) 東京理事会・合同理事会
17:00~18:00 WEBのみ

7/15(水)~17(金) 第14回無電柱化推進展
※7/16に交流会がある

2. 北海道フォーラム 2026 の進捗・結果報告について
※後述いたします。

3. 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO の進捗状況

参加者:会場 136 名 WEB 32 名 計 168 名

1. 展示協賛 3社
2. 資料封入協賛 2社
3. チラシ協賛 17社・法人

4. 総会・総会セミナーについて

- ・5/22(金)現在の総会の正会員の出欠票は26票。
- ・有効投票数は 51 票。
- ・場所は、大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室
- ・講師は、国交省の藤井課長補佐と内閣府防災担当参事官付参事官補佐の中村雄貴氏
- ・総会セミナーでもチラシ協賛を実施。絶賛募集中!

第19回 NPO無電柱ネット総会セミナー WEB参加OK! (Cisco Webex 運営)

テーマ 無電柱化は新しいフェーズへ! 「～災害対応の一丁目一番地～」

2026年6月19日(金) 17:00~18:40
 大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室
 大阪府北区梅田1丁目2-2・500 大阪駅前第2ビル5階

講演者のご紹介
 藤井久暢 (国交省道路局 環境安全・防災課 課長補佐)
 中村雄貴 (内閣府政策統括官付参事官(防災計画) 担当) 付参事官補佐

当日のスケジュール (予定)
 17:00 主催者挨拶 当NPO理事長 高田 昇
 17:05 南海トラフ地震と無電柱化(予定) 内閣府政策統括官付参事官(防災計画) 担当 中村雄貴
 17:35 ※※※ 質疑応答 ※※※
 17:45 第3次無電柱化推進計画の概要(予定) 国土交通省道路局環境安全・防災課課長補佐 藤井久暢
 18:25 ※※※ 質疑応答 ※※※
 18:35 当NPOからのお知らせ 当NPO理事・事務局長 井上利一
 18:40 閉会
 19:00 交流会

参加費: 無料 (一般の方も参加可)
 資料代: 1,000円 (希望者・データ渡し)
 交流会: 19:00 ~ 5,000円
 問い合わせ: NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク TEL:06-6381-4000 FAX:06-6381-3999 事務局(塚田)tsukada@nponpo.net

主催 ◆ NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
 後援(予定) ◆ 一般財団法人日本みち研究所 NPO法人「日本で最も美しい村」連合 無電柱化を推進する市区町村長の会

お名前	所属先	メール先	会場・WEB	交流会	資料
		@	会場・WEB	参加□ 不参加□	要・不要
		@	会場・WEB	参加□ 不参加□	要・不要
		@	会場・WEB	参加□ 不参加□	要・不要

参加費 無料 **6/19(金) 第19回 NPO無電柱ネット総会セミナー**
 無電柱化は新しいフェーズへ! ～災害対応の一丁目一番地～
 17:00~18:40 大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室
[参加申込フォーム クリックで!](#)

5. 無電柱化推進展の展開について

- ・2ブース、早期割引で申込
- ・無電柱化関係者のコンストラクションステージ
 7/15(水) 10:20~11:00(40分) 東京都建設局
 7/16(木) 16:20~17:00(40分) 国交省道路局
 7/17(金) 12:20~13:00(40分) 東京都都市整備局

・無電柱化ネットワーキング交流会について

7/16(木) 17:10~18:00(約1時間)
 無電柱化関係者を交えての交流会(名刺交換会)の企画を進めています。
 関係者を交えて名刺交換できる場を NPO 主催で実施します。←JMAさんが場所・機材・飲食を提供
 小池都知事からビデオメッセージをいただける予定



・協賛展示について

フロアは昨年と同様に製品展示とポスター・パネル展示など
 なんとか昨年の水準以上での展示を心掛けたい。

・ミニセミナーについて

7/16(木)は、関係者の交流会招聘のため、関係者は7/16中心で検討したい。

6. 防災こくたい2026

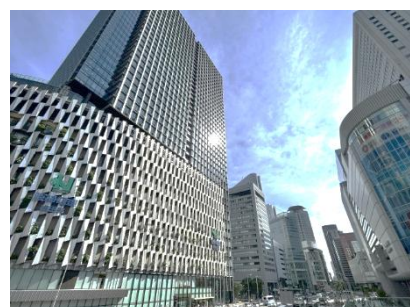
4月25日(土)に申し込みを完了。
 10月17(土)・18(日)の2日間。鳥取県倉吉市で開催。
 第1希望 ブース展示
 第2希望 パネル展示
 第3希望 オンライン・ブース展示
 出展可否や出展形式については、2026年7月末予定。

7. 理事報告・その他

- ・総会時の決算報告について
- ・年会費について(プレミアム会員など)
- ・プレミアム会員特典の条件として
- ・今年度から始まる第3次無電柱化推進計画を契機とした全国10地整を回るシンポジウム開催について
- ・年会費や会員の種類の変更などは、次回6月19日の合同理事会以降も引き続き議論していく。

8. 次回予定

6月19日(金) 大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室 14:00~14:30



概要報告

無電柱化 北海道フォーラム 2026

津波から命を守る 逃げ切れる北海道へ

—あきらめない避難、
あきらめさせない社会へ—

5/14(木)14:00~17:30
かでの2.7



北海道支部村山支部長からの報告

- ・5/12 現在、当 NPO の HP で 310 名の申込をいただいた時点で締切。
- ・実際の参加者 総勢 253 名(役員・担当者を含む)
内、事前申込者 177 名、当日参加者 76 名。

2026 年 5 月 14 日(木)、「津波避難と無電柱化 北海道フォーラム 2026 —あきらめない避難、あきらめさせない社会へ—」を北海道にて開催いたしました。

本フォーラムは、「あきらめない避難、あきらめさせない社会へ」をテーマに、北海道沿岸地域における津波避難の現実的課題と、避難行動を支える社会インフラの重要性について、多様な立場から課題共有を行うことを目的として開催したものです。

近年、千島・日本海溝沿い巨大地震への緊迫感が高まる中、北海道では、

- ・積雪寒冷環境
- ・長距離避難
- ・高い車避難依存
- ・高齢化

無電柱化 北海道フォーラム 2026

津波から命を守る

逃げ切れる北海道へ
～避難行動の実効性を共に考えよう～

第一部 基調講演

災害から命を守る
デジタル技術の利活用

白田 裕一郎 氏
国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター長

北海道における
無電柱化の取組について

高山 博幸 氏
国土交通省 北海道開発局
建設部 道路維持課長

参加無料
※入退自由

第二部 パネルディスカッション

あきらめない避難、あきらめさせない社会へ
～海辺のまちで“助かる”を当たり前にするために～
避難路をどう守るか

関根 一 氏 滝野 幸子 氏 高井 忠美子 氏 萩原 孝 氏
国土交通省 建設部 道路維持課長 国土交通省 建設部 道路維持課長 国土交通省 建設部 道路維持課長 国土交通省 建設部 道路維持課長

【ロビー展示】津波から命を守る避難路の実例と課題

2026.05.14 木

14:00~17:30

かでのホール
かでの2・7 北海道立道民活動センター
札幌市中央区北2条西7丁目

公益社団法人 土木学会 CPDプログラム認定

お申し込み・お問い合わせは、こちらの二次元バーコードよりお願いいたします。
当日参加可能！時間内の入退自由！！お気軽にお越しください！！

主催：NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部
共催：(一財)北海道開発局技術センター / (一財)北海道建設技術センター / (一社)北海道開発局技術センター
後援：(国交省)道路局 / (国交省)北海道開発局 / (国交省)北海道建設局 / (公社)土木学会 / (国研)土木研究所 東北土木研究所
(公社)日本技術士会 北海道本部 / (一社)北海道建設業協会 / (一社)日本みち研究所 / (一社)建設コンサルタント協会 北海道支部
(一社)北海道建設者協会 / (一社)日本建築文化協会 / 北海道 / 札幌市 / 釧路市
NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 本部 / (限不同)



国交省北海道開発局 高山道路維持課長の基調講演

・夜間停電リスク

など、本州地域とは異なる厳しい避難条件が存在しています。

本フォーラムでは、防災科学・地域防災・福祉防災・無電柱化・地域インフラなど、

多様な分野の先生方・実務者をお招きし、「実際に逃げ切れる環境」をどのように整えていくかについて議論を行いました。

本フォーラムの講演内容

第一部では、防災科学技術や避難行動の実効性についての基調講演・情勢報告が行われ、

第二部のパネルディスカッションでは、北海道沿岸地域における避難路確保や、冬季・夜間避難の課題、高齢者・要支援者避難などについて、実践的な意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子

会場ロビーでのパネル展示の内容

また、会場ロビーでは、国・北海道・自治体の防災資料や津波想定をもとに、

「国→北海道→自治体→インフラ」という流れで避難行動の前提条件を可視化したパネル展示を実施しました。

今回の展示では、「読む展示」ではなく、「見て、感じて、考える展示」を目指し、



展示ホールでのパネル展示の様子（次段上写真も）



多くの来場者に地域防災を“自分事”として考えていただく機会となりました。

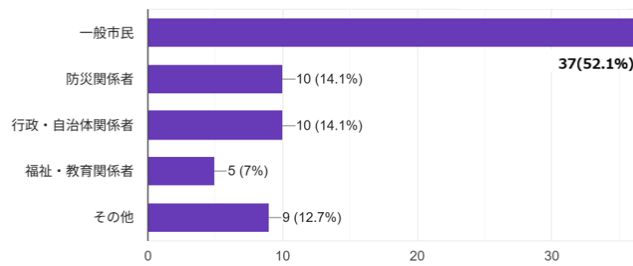
さらに、来場者アンケート「命を守るための避難路実態調査」では(270名のうち71名から有効回答)、

- ・冬季・夜間避難への強い不安
- ・車避難渋滞への危機感
- ・電柱倒壊による道路閉塞への懸念

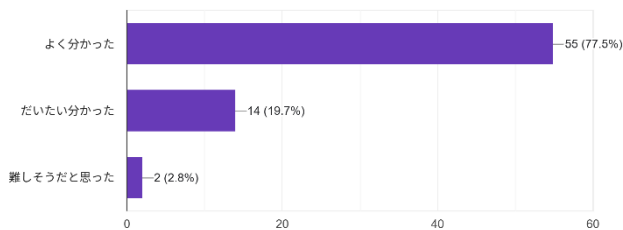
など、北海道特有の避難環境に対するリアルな課題意識が共有される結果となりました。

特に、「電柱倒壊時、避難は絶望的または逃げ遅れる可能性がある」と回答した方が98%を超える結果となり、「避難行動の実効性」を支える社会インフラの重要性が改めて浮き彫りとなりました(後述 Q6)。

Q2. 本日のフォーラムにはどのような視点(立場)で参加されましたか?
71件の回答



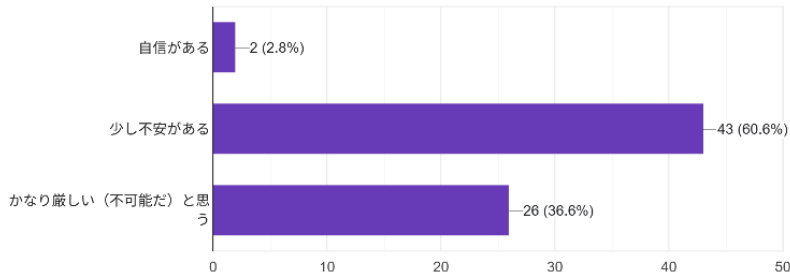
Q3. 展示パネルを見て、ご自身の地域の「津波到達時間」や「避難ルート」を改めて確認できましたか?
71件の回答



本フォーラムを通じて、無電柱化についても、従来の「景観・美観」という視点だけではなく、「命を守る避難環境」や「生存インフラ」として捉え直す課題共有が行われました。

Q4. もし「冬の夜」に巨大地震が起きた場合、今の計画通りに避難できる自信はありますか？

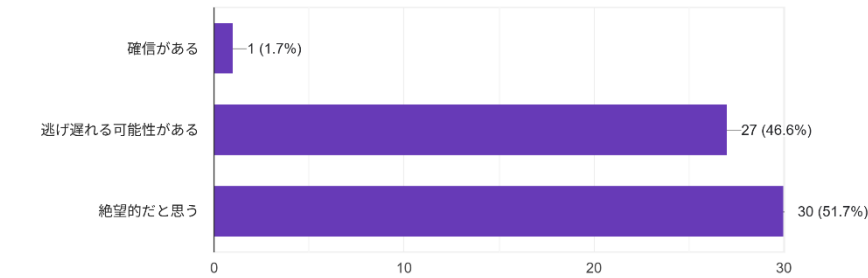
71件の回答



Q6.

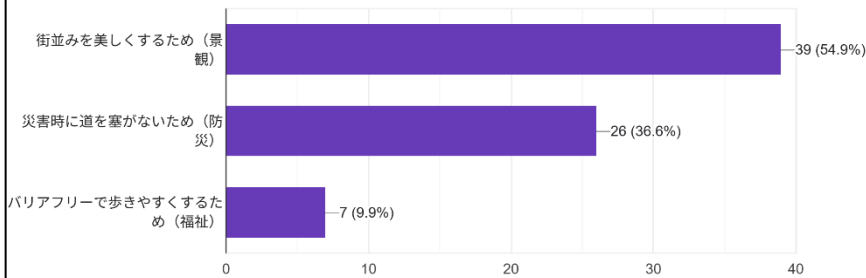
(Q5で電柱を選んだ方へ) 電柱が倒壊して道を塞...、別ルートで高台へ逃げ切る確信はありますか？

58件の回答



Q7. 無電柱化について、これまでどのようなイメージが強かったですか？

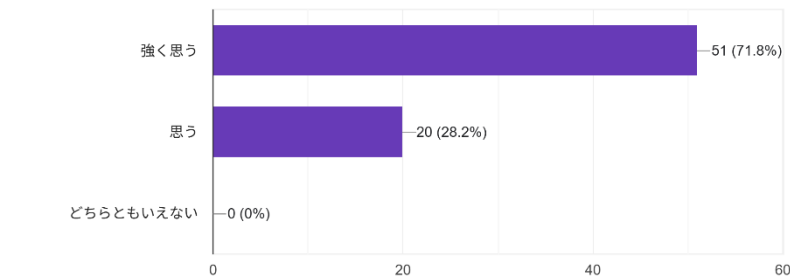
71件の回答



Q8.

誰もが「一秒でも早く、安全に」逃げ切るために...無電柱化を最優先で進めるべきだと思いますか？

71件の回答



Q9. 国や自治体に対し、「命を守るインフラ整備」として最も強く要望したいことは何ですか？

- ・ 無電柱化
- ・ 生活道路の無電柱化を進めてもらいたい。
- ・ 防災型無電柱化の取り組みが絶対必要!!
- ・ 予算を増やすこと
- ・ 緊急時における避難活動支援
- ・ 予算化
- ・ 電柱を抜く
- ・ 情報を多くの人に!
- ・ 住民に対しての強い災害意識
- ・ 電線地中化の整備
- ・ 福祉の面から見ても是非進めて欲しい
- ・ 無電柱化区間延長を伸ばしてほしい

回答者の地域分布 (Q1)について
「Q1:お住まいの地域はどこですか？」
の設問に対する回答内訳は、以下の通りである。(回答数 71 件)

その他(北海道内) : 59 名 (83.1%)

道外 : 9 名 (12.7%)

浦河町 : 2 名 (2.8%)

浜中町 : 1 名 (1.4%)

根室市・白糠町 : 0 名 (0%)

【分析と示唆】

回答者の8割以上が北海道内の住民・実務関係者で占められており、本調査が北海道地域における避難環境や地域特性を強く反映したデータであることが伺える。

また、道外からの参加・回答も一定数見られ、積雪寒冷地における避難行動やインフラ防災への関心が広がっていることが確認された。

本フォーラムが扱った「津波避難とインフラ」というテーマが、北海道のみならず、全国的にも共有されるべき地域防災上の課題として認識されつつあることが示唆される結果となった。

参加者の視点・立場(前掲 Q2)について

【分析と示唆】

本調査では一般市民が過半数を占める一方で、行政・防災・福祉等の実務関係者からも幅広く回答を得ており、多様な視点から地域防災や避難環境への課題意識が共有されていることが確認された。

特に、本フォーラムのテーマである「福祉防災」や「誰一人取り残さない還難」に関連する福祉・教育関係者からの回答も一定数得られており、避難行動を単なる防災計画としてではなく、「地域社会全体で支える環境」としてとらえる視点が共有されていることが窺える。

今後も北海道支部では、地域特性を踏まえた避難環境整備や地域防災について、
多様な主体と連携しながら継続的な課題共有と取り組みを進めてまいります。

留学生寄稿

「コロンビアの電柱・電線事情 ～私の思うこと～」



コロンビアのカルタヘナ旧市街、写真はイメージで、本文の内容とは一致しません。

皆さん、こんにちは。今回、コロンビアに留学されている日本の大学生と無電柱化についての意見交換をする機会があり、ついでに「原稿も書いてよ！」とお願いしたところ、快く引き受けていただきました。以下、彼のレポートを紹介させていただきます。



こんにちは！南米コロンビアに留学しております、大学生の加藤遼と申します。
今回、留学先の EAFIT 大学でのプロジェクトにて、架線による景観汚染や安全性の低下についての問題提起をする際の参考として、NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク様からの専門性に富んだお話をいただきました。

この記事では、コロンビアにおける無電柱化事情や架線の事情をご紹介します。

1. コロンビアの無電柱化事情について



メデジン中心部、Ciudad del Río の主要な道路。電柱はなく、かなり綺麗に整備されている。

私の住んでいるメデジンという街は、30 年ほど前には世界一危険な都市として知られた暴力が支配する街でした。

しかし今では、負の遺産もまると観光地化する都市再生プロジェクトや、急速に進む再開発によって見違えるような発展を遂げています。

この町に限って言えば、観光資源としての街区や富裕層向けの新興開発地域での無電柱化は進みつつあります。

EPM というメデジンのインフラ管理を担う公社はかなり優秀で、送配電ネットワークの地中化を積極的に進めているようです（コロンビアではインフラを担う公社が横領や腐敗で機能しないケースが多々あります）。

一方で、街の周辺部とは以前として格差があります。

特にメデジンは大きな谷底の街となっていて、川が通り、比較的平坦な中心部に比べ、周辺部にいくほど山の急な斜面に位置しており、様々なインフラ全般の拡充が難しくなっているのです。

我々のプロジェクトで取材に訪れた、架線が入り乱れ危険の大きい地区も、例に漏れず貧困と公的サービスの不在・欠乏に悩まされる場所でした。

国全体の話はリサーチベースにはなってしまいますが、割合で言うと無電柱化率は 10% 未満で、日本と似たような状況となっています。経緯もある程度似通っていて、20 世紀後半の急速な都市化と同時に架線が爆発的に増加したこと、豊かな自然と陰

しい地形が地中化の難易度を高めていること、近年の需要増に応じて複数の通信業者がケーブルを乱立させたこと、そして公的なインフラ投資の不足があげられます。

アルゼンチンのブエノスアイレスや、ペルーのリマなど、南米でも地中化の進んだ都市はありますが、こうしたケースでは多くの欧米移民、欧米資本が19世紀末から入っていたり、大地震で街が崩壊してインフラ再構築を迫られるなどして、地中化への舵をとってきました。欧米移民が少なく、政治的安定が20世紀初頭までずれ込み、地震も多くないコロンビアは地中化のインセンティブが少なかったのではないかと思います。

2. 無電柱化の工事について



コロンビアでの無電柱化施工の風景 写真は、住んでいる家のすぐ近くの工事現場で、おそらく旧来の工法です。50mほど片側車線をまるまる潰しているのが毎日すごい渋滞です。

前述のEPMでは、日本と同じような開削工法とともに、交通量の多い場所では新たにトンネル・リネア工法という、発進坑を掘り、そこから地中を水平に穿孔してダクトを通す方式を取り入れているようです。

傾斜の多いメデジンは圧倒的車社会であり、渋滞は市民生活へのインパクトが大きいので、こうした工夫は重要だと感じます。ただでさえ毎日渋滞しますから（笑）。

ただし、さらに重大な懸念がありまして、それは前述のような周辺部で顕著な「不法組織の縄張り問題」です。「見えない境界」とも呼ばれるこの現象は、それぞれの地域を「シマ」にする武装組織が、部外者や自分たちに楯突く者を殺害・恐喝したりするもので、コロンビア特有の公権力の弱さ、警察の腐敗、暴力組織の強さといったことに由来しています。仮に住人が地中化に関心を持っていても、それを組織化して請願する相手がいなかったり、「地域住人の理解」を得ることがすなわち「マフィアの許可」を得ることにすり替わったりする可能性があるという、別のレベルの工事の難しさがあるのです。

3. 電線(電力線・通信線)の現状について

すでに少し触れていますが、電線や通信線は地域によってかなり事情が異なります。

コロンビアにはEstratos（エストラト）制度という、住宅を1～6の階層に分類する国家制度があります。つまり、地区によって明確に貧困層か富裕層かが定まっているということです。

行政がしっかり入って区画整備やまちづくりの進んでいるところは、大抵がエストラトの高い地区で、無電柱化も取り組まれ、電柱があるところでも秩序だった設計がなされています。エストラトの低い地域では混沌とした電線がたくさん確認できるほか、インフラの不安定さも課題です。



4. 終わりに

今回の大学のプロジェクトを通して、コロンビアのインフラ整備における様々な課題を認識するとともに、無電柱化の普遍的な重要性にも気づくことができました。

余談ですが、各種ストリーミングサービスやユーチューブにて、コロンビア生活についてなどを語るポッドキャスト（ラジオのようなもの）をやっております。

「Ryoのコロンビア留学記」で検索していただければ聞くことができます！ご関心のある方はぜひ！

海外での無電柱化工事の写真の紹介

個人会員のキューシク様から送っていただいた米国（ニューヨーク）とイタリア（フィレンツェ）で撮影された無電柱化・地下インフラ施工の写真をご紹介します。



マンハッタンでの上下水道工事

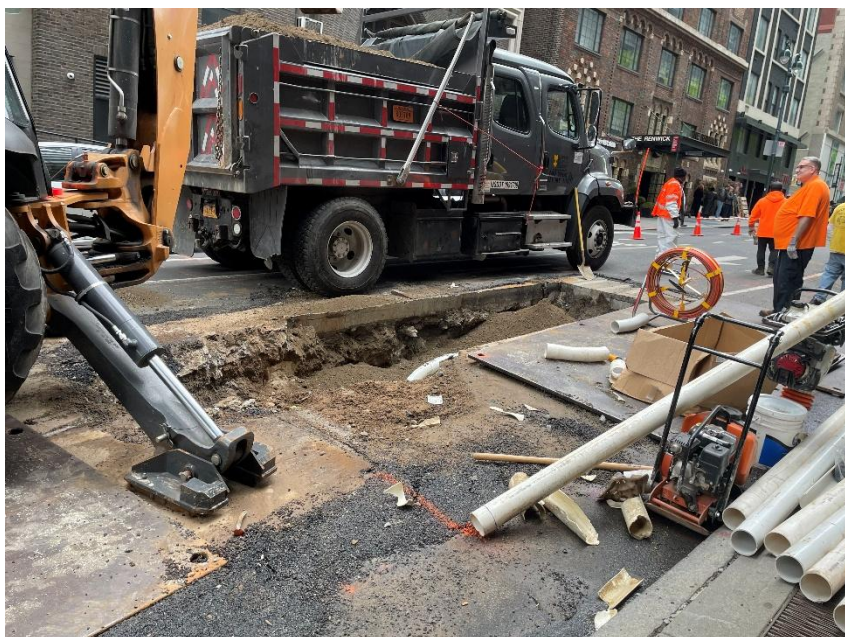
国内・海外での 無電柱化風景・工事の写真募集

当NPOでは国内・海外での無電柱化された街並みや施工現場の写真を募集しています。

人物の顔や車のナンバーなど特定されない配慮の上、送って下さい。tsukada@nponpc.net：塚田まで



同地での光ファイバー地下敷設



フィレンツェの上下水工事（地下に歴史的なレンガ構造あり）



フィレンツェの景観写真（電線が一切見えない街並み）

イベント案内①

6/19(金)開催、第19回 NPO 無電柱ネット
総会セミナーの参加申込はココをクリック!



第19回 NPO無電柱ネット総会セミナー

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

WEB参加OK!
(Cisco Webex 運営)

テーマ

無電柱化は新しいフェーズへ!

「～災害対応の一丁目一番地～」

2026年6月19日(金) 17:00～18:40
大阪市立総合生涯学習センター5階 第1研修室
大阪市北区梅田1丁目2-2-500 大阪駅前第2ビル5階



参加申込はこちら

講演者のご紹介



藤井久暢
国土交通省道路局
環境安全・防災課
課長補佐



中村雄貴
内閣府政策統括官
付参事官(防災計画
担当)付参事官補佐

会場MAP



日本では、地震や台風・豪雪などの災害が多く発生します。我々NPOが取り組んでいる無電柱化は防災面で威力を発揮します。その無電柱化を進めるにはどこを優先し、どのようにして実施すればよいのか、また、防災対策を今後どのように進めていくのがよいのか、専門家のお話を伺います。

■ 当日のスケジュール (予定)

- 17:00 主催者挨拶 当NPO理事長 高田 昇
- 17:05 南海トラフ地震と無電柱化(予定)
内閣府政策統括官付参事官(防災計画担当)
付参事官補佐 中村雄貴
- 17:35 ※※※ 質疑応答 ※※※
- 17:45 第3次無電柱化推進計画の概要(予定)
国土交通省道路局環境安全・防災課課長補佐 藤井久暢
- 18:25 ※※※ 質疑応答 ※※※
- 18:35 当NPOからのお知らせ 当NPO理事・事務局長 井上利一
- 18:40 閉会
- 19:00 交流会

- ◆参加費：無料 (一般の方も参加可)
- ◆資料代：1,000円 (希望者・データ渡し)
- ◆交流会：19:00～ 5,000円
- ◆問い合わせ
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
TEL:06-6381-4000 FAX:06-6381-3999
事務局(塚田) tsukada@nponpc.net
- ◆主催◆
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
- ◆後援(予定)◆
一般財団法人日本みち研究所
NPO法人「日本で最も美しい村」連合
無電柱化を推進する市区町村長の会



メンテナンス・レジリエンス2026

第14回 低コストで実現する、新しい街づくり。無電柱化に関する商材に特化した専門展示会

無電柱化推進展

出展申込受付中!

会期 **7.15** WED (水) → **17** FRI (金)
2026.

会場 **東京ビッグサイト 東展示棟**

無電柱化推進展に出展しませんか?

これまで無電柱化は、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から実施されてきましたが、近年、災害の激甚化・頻発化、あるいは高齢者の増加等により、その必要性が高まっています。特に、近年の台風や豪雨等の災害では、倒木や飛来物起因の電柱倒壊による停電並びに通信障害が長期間に及ぶケースも報告されており、電力や通信のレジリエンス強化も求められているところです。そのような背景のもと、電柱のない街づくりを推進する技術・サービスを発信する専門展示会として本展を開催します。

無電柱化に特化した 専門展示会

無電柱化推進展の特徴

- 日本で唯一、「無電柱化」に特化した展示会
無電柱化に特化した日本で唯一の B to B 専門展示会です。
- 第14回「メンテナンス・レジリエンス2026」の構成展示会として開催
12の専門展示会が集まる「メンテナンス・レジリエンス2026」の中での開催により、相互に関連のある建設・製造業の約32,000名を超える方が一堂に会します(予定)
- 質の高い来場者
2025年開催の「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025」の総来場者32,392名中、課長以上の役職の方の割合が40%を超えています! 決定権のある方に出会えるチャンスです!

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025 来場業種

総来場者 **32,392**名の業種別来場者内訳(業種)

運輸・交通	1.1% (328人)
イベント・レジャー	1.1% (333人)
高速道路	1.5% (445人)
物流・倉庫	1.5% (446人)
教育機関、研究機関、学生	1.5% (447人)
鉄道	2.1% (647人)
素材・材料	2.7% (813人)
官庁・地方自治体・団体	3.3% (993人)
電力・ガス	3.8% (1,155人)
鉄鋼・非鉄金属	4.1% (1,234人)
自動車・輸送機器	4.7% (1,416人)
化学・食品・医薬	6.3% (1,900人)
情報・通信・ITソフトウェア	6.6% (2,004人)
電機	7.8% (2,381人)
その他メーカー	8.7% (2,639人)
警備・清掃	0.9% (262人)
医療・福祉機器	0.5% (167人)
商業・文教施設	0.4% (112人)
土木・建設 建設コンサル	16.7% (5,062人)
電機・精密機器	12.7% (3,853人)
農林・卸・小売・代理店	12.4% (3,756人)

詳細をご希望の方は裏面よりお問い合わせください

主催 **JMA** 一般社団法人日本能率協会

7/15(水) 東京都建設局
7/16(木) 国交省
※17:10～無電柱化交流会
7/17(金) 東京都都市整備局



- 今年の無電柱化推進展は
- ・2ブースを使って展開
 - ・無電柱化低コストにつながる展示を予定
 - ・壁面を使って参加者に役立つ展示を実施
 - ・専門家を招いての充実したミニセミナーを実施!

主催者である(一社)日本能率協会様からコンストラクションステージで連日無電柱化の講演をします。

7/15(水) 東京都建設局

7/16(木) 国交省

※17:10～無電柱化交流会

7/17(金) 東京都都市整備局

7月に向けて色々検討し、皆さんにご案内していきたいと思えます。

展示協賛もしていますので、ご協力をお願い致します。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークの会員募集

私たちはこのNPOの活動を通して、

日本の街に美しい空を取り戻したい、災害に強く、安全安心で住み良い街にしたい。そして“美しい国”を子ども達に残したい。

そういった想いのもと、日本の街を電柱や電線の無い、安全安心で、美しい景観の街にするために、街づくりを行うすべての機関(不動産・デベロッパー・行政等)を支援していきます。

NPO法人「電線のない街づくり支援ネットワーク」の活動目的に賛同し、支援して下さる方、電線のない街(電線類地中化)を創りたい・子供たちにきれいな空を残したい・街づくりに興味のある個人・企業様を募集しています。ご推薦も是非お願い致します!

会員募集のページ

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

